

埼玉県道路事業箇所評価マニュアル

平成 16 年 8 月 道路街路課

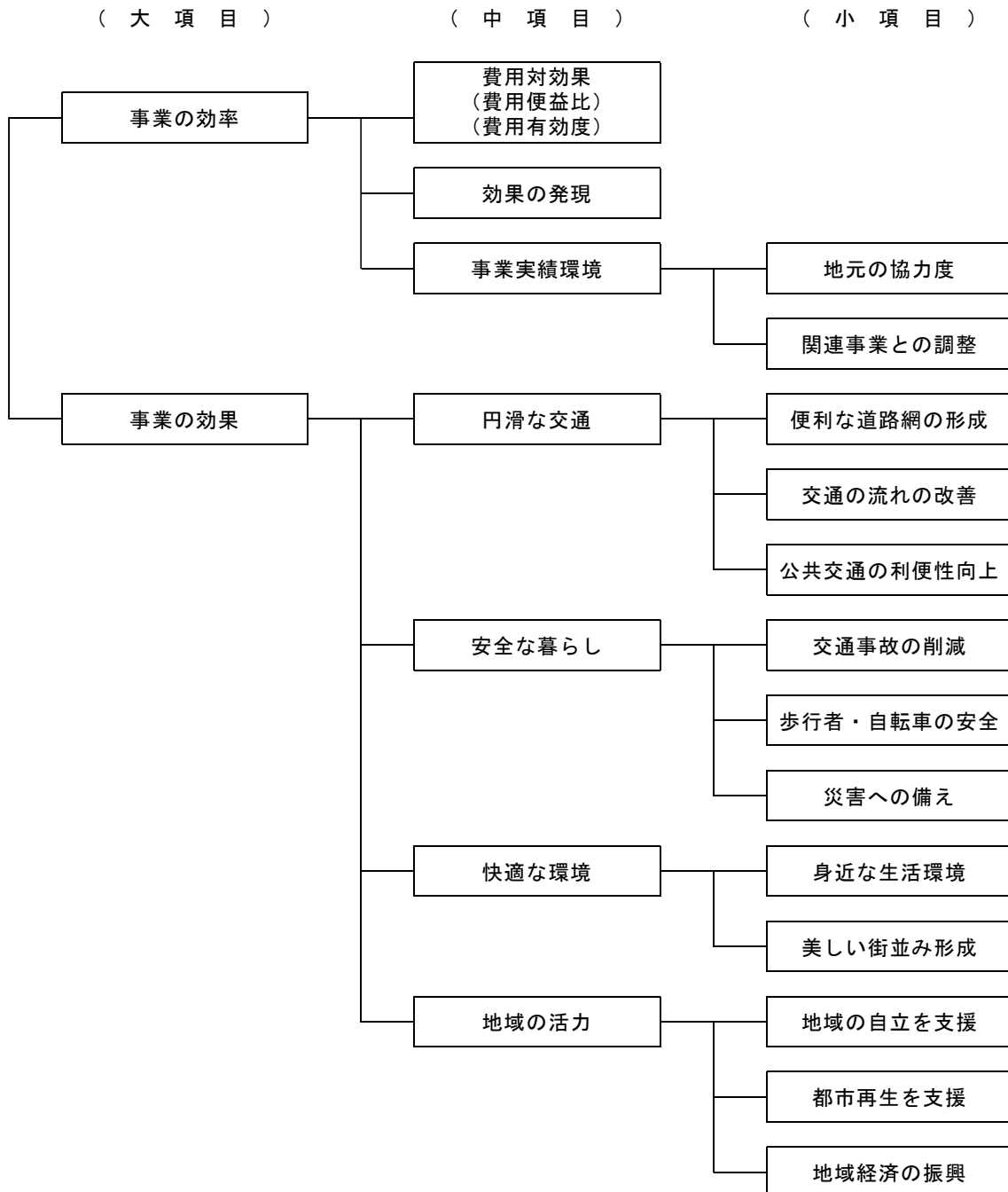
道路環境課

平成 29 年 3 月 道路政策課

(一部更新)

1. 評価の体系

○評価の体系は、以下のとおりとする。



2. 評価項目、評価指標

○各事業における評価項目及び評価指標は、以下のとおりとする。

(1) 評価項目及び評価指標

◎事業の効率

中項目	指標
費用対効果 (費用便益比) (費用有効度)	費用便益比(便益B)と事業費(C)の比 あるいは 費用有効度(直接受益者数(E)と事業費(C)の比)
効果の発現	便益(B)と残事業期間(T')の比 あるいは 全体事業費(C)の投資済み事業費(C')の比
事業実施環境	地元の協力度
	関連事業により実施時期が決められている。

◎事業の効果

中項目	小項目	指標
円滑な交通	便利な道路網の形成	整備計画に位置付けられている 整備水準の低い地域の改善に寄与する
	交通の流れの改善	交通渋滞の緩和・解消に寄与する 走りやすさの向上に寄与する
	公共交通の利便性向上	バス、鉄道の利便性向上に寄与する
安全な暮らし	交通事故の削減	交通事故の防止に寄与する
	歩行者・自転車の安全	歩行者・自転車の安全な通行の確保に寄与する
	災害への備え	災害時等における安全性の向上と 円滑な避難・救援に寄与する
快適な環境	身近な生活環境	沿道環境(騒音・大気)の改善に寄与する
	美しい街並みの形成	市街地の景観や歩行の快適性の向上に寄与する
地域の活力	地域の自立を支援	中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与する
	都市再生を支援	中心市街地の活性化に寄与する
	地域経済の振興	地域の生産や就業機会の拡大に寄与する

(2) 事業別評価項目

評価項目			事業別 評価項目				
大項目	中項目	小項目	道路 改築	街路 整備	交差点	歩道 整備	地中化
事業の 効率	費用対効果		—	—	—	—	—
	(費用便益比)		○	○			
	(費用有効度)				○	○	○
	効果の発現		○	○	○	○	○
	事業実施環境	地元協力度		○	○	○	○
関連事業との調整			○	○	○	○	○
事業の 効果	円滑な環境	便利な道路網の形成	○	○			
		交通の流れの改善	○	○	○	○	
		公共交通の利便向上	○	○	○	○	
	安全な暮らし	交通事故の削減	○	○	○	○	
		歩行者・自転車の安全	○	○	○	○	○
		災害への備え	○	○	○	○	○
	快適な環境	身近な生活環境	○	○	○		
		美しい街並みの形成	○	○		○	○
	地域活力の向上	地域の自立を支援	○	○	○	○	○
		都市再生の支援	○	○	○	○	○
		地域経済の振興	○	○	○	○	
	項目数合計			15	15	13	13

3. 評価の実施

評価は、以下の順に実施する。

(1) 評価点

○項目ごとに、別に定める判断基準（チェックリスト）により、1～5点の評価点を付与する。

(2) 重み付け

項目ごとに、以下の重みを付ける。

○効率の重み付け

大項目	中項目	小項目	重み
事業の 効率	費用対効果 (費用便益比) (費用有効度)		25.0
	効果の発現		25.0
	事業実施環境	地元協力度	
関連事業との調整			20.0
合計			100.0

○効果の重み付け

- ・事業ごとに、6地域別に以下の重みとする。

道路改築、街路整備

大項目	中項目	小項目	重み						
			県南部東	県南部西	県中部東	県中部西	県北部	秩父	全県(参考)
事業の 効果	円滑な交通	便利な道路網の形成	10.1	9.5	9.4	9.4	10.2	10.4	9.8
		交通の流れの改善	10.2	10.9	9.5	9.3	9.6	8.1	9.6
		公共交通の利便性向上	7.3	7.6	7.3	7.3	7.6	6.1	7.4
	安全な暮らし	交通事故の削減	11.3	11.2	10.5	11.6	10.8	10.7	11.0
		歩行者・自転車の安全	12.8	12.6	12.5	12.4	11.5	11.5	12.2
		災害への備え	10.4	9.1	8.8	8.8	8.2	9.1	9.0
	快適な環境	身近な生活環境	10.7	11.1	11.5	12.4	10.8	11.7	11.4
		美しい街並みの形成	10.0	9.5	9.7	8.9	9.5	10.8	9.6
	地域活力の向上	地域の自立を支援	5.9	6.3	7.4	6.4	7.1	7.8	6.7
		都市再生を支援	5.9	6.4	6.7	6.3	6.1	5.5	6.2
地域経済の振興		5.5	5.8	6.8	7.1	8.5	8.2	6.9	
合計			100	100	100	100	100	100	100

歩道整備

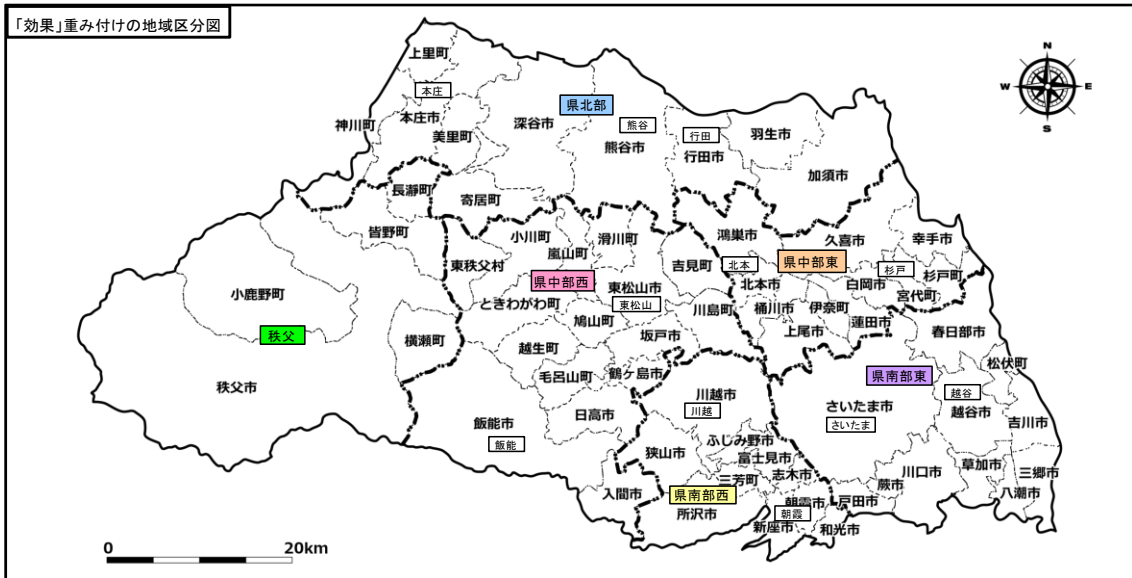
大項目	中項目	小項目	重み						
			県南部東	県南部西	県中部東	県中部西	県北部	秩父	全県(参考)
事業の 効果	円滑な交通	便利な道路網の形成	-	-	-	-	-	-	-
		交通の流れの改善	12.8	13.7	12.0	11.9	12.2	10.4	12.2
		公共交通の利便性向上	9.2	9.6	9.3	9.4	9.6	7.9	9.4
	安全な暮らし	交通事故の削減	14.3	14.1	13.2	14.9	13.7	13.7	14.0
		歩行者・自転車の安全	16.1	15.9	15.8	15.8	14.6	14.7	15.5
		災害への備え	13.1	11.5	11.1	11.3	10.4	11.7	11.5
	快適な環境	身近な生活環境	-	-	-	-	-	-	-
		美しい街並みの形成	12.6	12.0	12.3	11.4	12.0	13.9	12.2
	地域活力の向上	地域の自立を支援	7.4	7.9	9.3	8.2	9.0	10.1	8.5
		都市再生を支援	7.5	8.0	8.5	8.1	7.7	7.1	7.9
地域経済の振興		7.0	7.4	8.6	9.1	10.8	10.6	8.8	
合計			100	100	100	100	100	100	100

交差点整備

大項目	中項目	小項目	重み						
			県南部東	県南部西	県中部東	県中部西	県北部	秩父	全県(参考)
事業の 効果	円滑な交通	便利な道路網の形成	-	-	-	-	-	-	-
		交通の流れの改善	12.7	13.4	11.7	11.4	12.0	10.3	11.9
		公共交通の利便性向上	9.1	9.4	9.1	9.0	9.4	7.8	9.2
	安全な暮らし	交通事故の削減	14.1	13.8	13.0	14.2	13.5	13.6	13.7
		歩行者・自転車の安全	16.0	15.6	15.5	15.2	14.4	14.6	15.2
		災害への備え	13.0	11.2	10.8	10.8	10.2	11.5	11.2
	快適な環境	身近な生活環境	13.4	13.7	14.2	15.1	13.5	14.9	14.2
		美しい街並みの形成	-	-	-	-	-	-	-
	地域活力の向上	地域の自立を支援	7.4	7.7	9.1	7.9	8.9	9.9	8.3
		都市再生を支援	7.4	7.9	8.3	7.7	7.6	7.0	7.7
地域経済の振興		6.9	7.2	8.4	8.7	10.6	10.5	8.6	
合計			100	100	100	100	100	100	

電線類の地中化

大項目	中項目	小項目	重み						
			県南部東	県南部西	県中部東	県中部西	県北部	秩父	全県(参考)
事業の 効果	円滑な交通	便利な道路網の形成	-	-	-	-	-	-	-
		交通の流れの改善	-	-	-	-	-	-	-
		公共交通の利便性向上	-	-	-	-	-	-	-
	安全な暮らし	交通事故の削減	-	-	-	-	-	-	-
		歩行者・自転車の安全	28.4	28.8	27.7	28.9	27.2	25.7	27.9
		災害への備え	23.1	20.7	19.4	20.6	19.4	20.3	20.6
	快適な環境	身近な生活環境	-	-	-	-	-	-	-
		美しい街並みの形成	22.1	21.7	21.6	20.7	22.3	24.2	22.0
	地域活力の向上	地域の自立を支援	13.1	14.3	16.4	15.0	16.8	17.5	15.3
		都市再生を支援	13.2	14.5	14.9	14.8	14.4	12.3	14.2
地域経済の振興		-	-	-	-	-	-	-	
合計			100	100	100	100	100	100	



(3) 得点

- 評価点に重みを乗じて、効率及び効果のそれぞれの合計点を算出する。
- 合計点を100点満点に換算し、得点とする。

(4) ランクの決定

- 別に定める得点区分により、効率のランク（a, b, c）と効果のランク（A, B, C）を決定する。

(5) 総合評価

- 効率のランクと効果のランクから、以下の表により箇所の優先度を決定する。

		事業の効率		
		a	b	c
事業の 効果	A	1	2	4
	B	3	5	7
	C	6	8	9

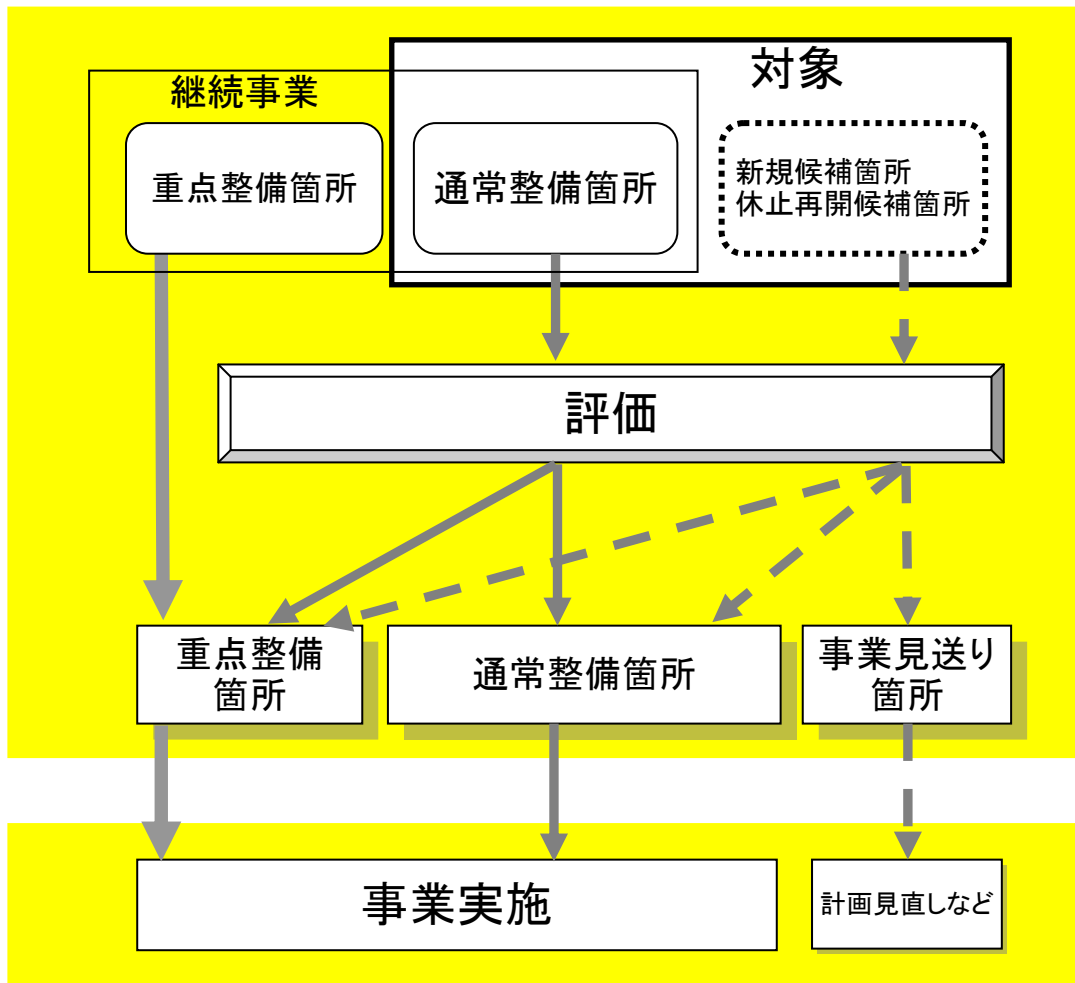
4. 評価の計算例（重みは全県の平均を使用）

大項目	中項目	小項目	重み ①	評価点 ②	得点 ①×②
事業の 効率	費用対効果		25.0	4	100
	（費用便益比）				
	（費用有効度）				
	効果の発現		25.0	3	75
	事業実施環境	地元協力度	30.0	3	90
		関連事業との調整	20.0	3	60
効率点					325
効率点（100点満点中に換算）					65
効率点に応じたランク分け a、b、c					

大項目	中項目	小項目	重み ①	評価点 ②	得点 ①×②
事業の 効果	円滑な交通	便利な道路網の形成	9.8	4	39.2
		交通の流れの改善	9.6	5	48.0
		公共交通の利便性向上	7.4	1	7.4
	安全な暮らし	交通事故の削減	11	4	44.0
		歩行者・自転車の安全	12.2	3	36.6
		災害への備え	9	5	45.0
	快適な環境	身近な生活環境	11.4	4	45.6
		美しい街並みの形成	9.6	1	9.6
	地域活力の向上	地域の自立を支援	6.7	4	26.8
		都市再生を支援	6.2	2	12.4
		地域経済の振興	6.9	5	34.5
効果点					349
効果点（100点満点に換算）					70
効果点に応じたランク分け A、B、C					

5. 評価の適用の考え方

○評価は、以下の考え方により適用する。



- ・ 重点整備箇所（暫定評価基準による箇所も含む）は、原則として事業が完了するまで重点整備箇所とし、その後は評価しない。
- ・ 通常整備箇所は、事業の進捗、事業実施環境の変化などにより上位のランクに位置づけられる可能性があるため、毎年、評価を行う。